

まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価シート(取りまとめ)

【基本情報】

基本目標1	小金井の魅力を発信し、交流人口の増加を図ることにより、地域の活性化につながるまち		
基本的方向1	魅力が共存する小金井らしいまちづくりの推進		
指標	市民1人あたりの公園の整備面積	担当課	環境政策課
指標の説明	市内の国都市立公園の面積合計を市民で除したもの。市民一人あたりどれくらいの公園があるかを示す指標。		

【重要業績評価指標(KPI)】

	目標	結果	評価	結果の説明	次年度に向けての課題・展望	委員評価取りまとめ	
26年度	6.77㎡						
27年度	↓	6.73㎡	D	公園整備に向けて事業は進捗している。駅前公園の整備計画を作成するに当たり、更なる周辺施設との調整が必要である。	土地区画整理事業の進捗に併せて公園を整備する。平成31年度事業終了予定。関係機関との協議は相当な時間がかかるので、可能なかぎり迅速に対応することが求められる。	関係者との協議に時間がかかるので、密度の高い協議を進めるべきであり、今後は公園の中身や規模が問われるようになる(憩いの場、軽運動の場、遊戯の場、安心安全等)。	
28年度	↓	6.80㎡	B	都立公園の用地拡張、小長久保公園の用地取得、開発事業による提供公園等により、市民1人当たりの公園の整備面積の増につながった。	小長久保公園、貫井けやき公園の用地取得および整備を推進する。	人口が増加している中、市民一人あたりの公園面積が増加したことは評価できる。都市のライフスタイルにあった公園の使い勝手や安全性等の質の向上に取り組んでほしい。また、公園の活用や使われ方等、人的側面も加味した整備を推進していただきたい。市内で世帯増加率の高いエリアでの公園整備に引き続き取り組んでほしい。	
29年度	↓						
30年度	↓						
31年度	6.84㎡						